

宮城県名取市教育旅行

マナビ×ナビ×ナトリ

一般社団法人
名取市観光物産協会
NATORI City Tourist Bureau MIYAGI ● JAPAN



名取市マスコットキャラクター
カーナくん

2021年8月

東日本大震災から10年。今、宮城県
名取市閑上地区では「レジリエンス」(※)
に注目されています。

※困難や強いストレスに直面した時に適応する
精神力と諦めない強さ、回復力

【特設WEBサイト】Explore Yuriage
～生まれ変わった、活気溢れる港町～



復興を遂げた事業者さん達のご紹介はこちらのWEBサイトへ

関上地区が大きく 生まれ変わりました



震災・防災学習だけでなく、
スポーツの拠点もでき、1^{km}四
方内で様々な体験・学習がで
きるようになります。

2019年OPEN



みちのく潮風トレイル
名取トレイルセンター



ゆりあげ周遊船

2019年OPEN



かわまちてらす関上

2020年OPEN



震災復興伝承館



震災メモリアル公園

2013年復活



・ゆりあげ港朝市
・メイプル館

2020年再建しOPEN

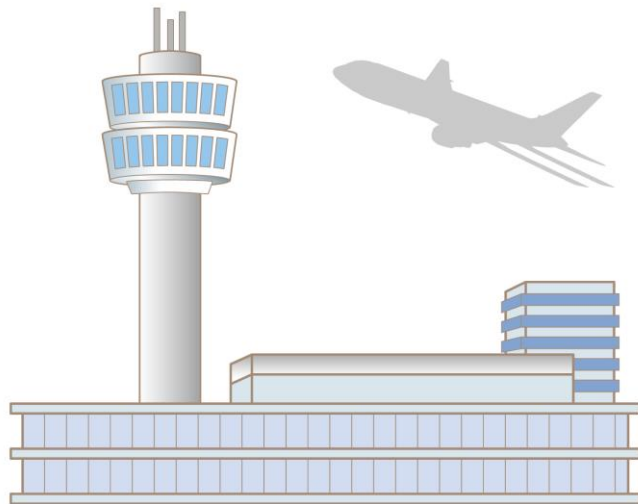


名取市サイクルスポーツセンター



閑上地区は仙台空港、仙台駅から近い！

- 仙台空港がある名取市
- 空港到着から閑上地区まで車で約15分
- 仙台駅から車で約30～40分
- 仙台東部道路（高速）名取インターチェンジから約5分
- 仙台駅から名取駅まで電車で約15分



宮城県他地域の震災遺構と組み合わせて旅程を組まれることが多いです。



学ぶ：自然災害と防災

■震災復興伝承館（2020年5月OPEN）

河川氾濫時は防災拠点として機能するだけでなく、震災の教訓や防災の知識を後世に伝承する施設

- 震災や復興の記憶の伝承
年表や被災から復興までの資料・壁面パネルの展示、映像視聴、アーカイブ資料コーナー
災害時を体感できるコーナー(水圧体感ドアなど)
- 防災教育
自然災害を知る、どのように逃げる・備えるか



※コロナ対策として、入館時の検温、手指消毒、館内の換気を随時行っています。また、混雑時は人数制限をしています。



【料金】無料

【営業時間】4～11月9:30～16:30／12月～3月10:00～16:00

火曜休館（祝日の場合は開館、翌営業日休館）、年末年始

【所要時間】約20分

【施設情報】宮城県名取市閑上東1-1-1、大型バス駐車場あり

団体のお問合せは、名取市観光物産協会（022-382-6526）へ



学ぶ：閑上の復興と防災

■語り部団体

【閑上震災を伝える会】

【閑上の記憶】



【料金】

(震災を伝える会) 50分5,000円～
詳しくはお問合せください。

(閑上の記憶)

津波復興祈念資料館(事務局)へのお立ち寄りは無料、
語り部講話料金:45名まで 5,000円
1人～10人まで5,000円、人数によって料金変動
詳細についてはお問い合わせください。

■ゆりあげ港朝市復興のヒストリー

ゆりあげ港朝市協同組合代表理事
櫻井広行(さくらいこういち)氏の
講和または映像視聴

※講話の場合は日程、料金など名取市観光物産協会へ
お問合せください。



■震災メモリアル公園

慰霊碑・日和山周辺をメモリアル公園として整備



自転車 体験・宿泊

■名取市サイクルスポーツセンター（2020年10月OPEN）
東北で唯一の温泉付き自転車レクリエーション施設

- サイクリング

貸出用自転車90台、おもしろ自転車40台完備。
4 kmに及ぶサイクリングロードを走ってみよう。

- 宿泊

和室、洋室合わせて最大100人の宿泊が可能。

合宿などにも利用できます！

自転車を持ち込んで宿泊できる客室もあります。

- その他

研修室、レストラン、天然温泉あり。

スケートボード場、3×3バスケットコート、
フットサルなどのスポーツ施設。

【施設情報】

宮城県名取市閑上字東須賀地内

駐車場：約200台

水曜日は施設休館（宿泊は可）

※利用料金、宿泊料金などの詳細は公式HPをご覧ください。
<https://www.natori-cycle.com/>



体験・学ぶ

■みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター（2019年4月OPEN） 青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ1000kmの 「みちのく潮風トレイル」の中心拠点

- 名取トレイルセンターは、ハイカーに必要な情報や、「ロングトレイル」と「歩く文化」を発信する全拠点の中心施設。
- ハイカーだけでなく、地域住民や観光者がくつろぎ、交流できる空間も提供している。
- 様々なイベントや講座の企画がある他、相談に応じてウォークイベントなども可能。



- トレイル沿線の情報を展示した巨大パネルや、日本国内や世界のロングトレイルに関する書籍を自由に閲覧可能。
- 80名収容可能な講義室、キッチン付き実習室、会議室、シャワールームや洗濯機なども利用可能。
- 園庭にはキャンプ場が2021年オープン予定。

【施設情報】

宮城県名取市閑上3丁目12-1300番地 TEL 022-398-6181

開館時間*：4月～11月 / 9:00～17:00、12月～3月 / 9:00～16:00

休館日*：火曜日・1月1日

駐車場：大型バス駐車可／普通車56台





体験：周遊船

■ゆりあげ周遊船（2018年より7月～10月に運行） 船から学ぶゆりあげの「過去」「現在」「未来」

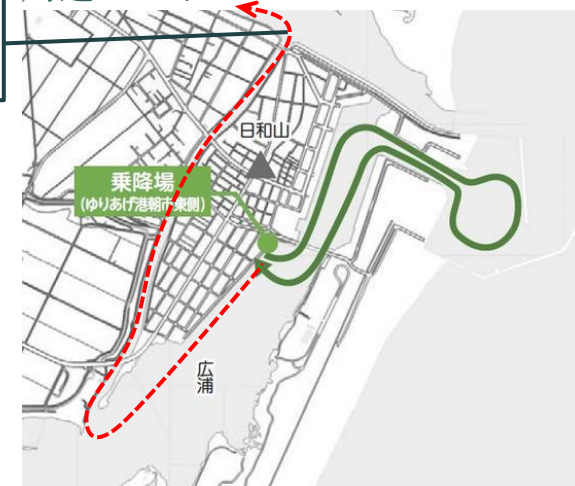
乗船

- 周遊船運行期間：7月～10月の日曜 ※貸切船は土日以外も受付可
- 毎便先着20名（団体貸切可）
- 料金：大人（中学生以上）700円／小学生300円／未就学児無料
- 運行ダイヤ：出発時間8時～12時 1日6便随時出航（約30分間）
- 乗船券：メイプル館内にて販売
- 乗船所：ゆりあげ港朝市敷地内東側より



将来的に貞山運河を通り、
かわまちてらす閑上前
まで運行する予定

周遊ルート



【施設情報】

住所 宮城県名取市閑上5丁目23-20（ゆりあげ港朝市内）

TEL 022-395-7211（メイプル館）

※貸切・平日の問合せは022-363-9535 マリンメカニックまで

（火曜、第一・第三水曜日定休）



食事・買い物

■かわまちてらす閑上（2019年4月完成）

被災した事業者を含む県内外の約30店舗が賑わいを見せており、復興のシンボルです

- ・ 笹かまぼこ店や新鮮な野菜、海の幸、お惣菜などの販売店の他、カフェやスイーツ店、カレーやラーメン店、特産の赤貝やせり鍋、北限のしらすを食べられる飲食店なども。
- ・ 全国でも珍しい川の堤防と同じ高さに位置し、名取川、閑上港、名取市街、蔵王連峰を眺めるロケーションの良さも魅力。



■ゆりあげ港朝市メイプル館

フードコートでは海鮮丼、中華料理などがお召し上がりいただけます。

収容人数：約100名

予算：1,000円～



団体様	専用メニュー
千屋の海鮮丼 1,000円	床の海鮮丼 1,000円
ラーメン ミニ丼丼セット 1,000円	海鮮ちらし 2,500円
水餃子付き 1,000円	海鮮ちらし 2,500円
スパイシーチキン カレー 1,000円	ロコモコ丼 1,000円
サウザンポンド 1,000円	サウザンポンド 1,000円

【施設情報】

（かわまちてらす閑上）

住所 宮城県名取市閑上1丁目6

TEL 022-399-6848

定休日：店舗による

（メイプル館）

平日・土曜10:00～16:00

日・祝日（朝市開催日）6:00～13:00

木曜定休

TEL 022-395-7235

✿ 農業体験

■カーネーションハウス見学・摘み取り体験

カーネーションは東北一の生産量を誇ります。東日本大震災ではカーネーションのビニールハウスも被災しましたが、復活しその後も見事な花を咲かせています。



■セリ田見学

10月～4月頃に旬を迎えるセリ。名取のセリ鍋はセリの根っこまで食べるのが特徴です。生産者の声や収穫作業の見学が可能です。



せり農家一例



【情報】

カーネーション（名取市閑上小塚原地区）
セリ、枝豆（名取市下余田地区）

所要時間 1時間～
受入人数や料金は応相談

■ 組み合わせ例①震災遺構 仙台市立荒浜小学校

- 名取川を挟んだ対岸の仙台市に、荒浜小学校があります。避難してきた児童や住民320人全員の命を守った小学校です。地震発生から避難、津波の襲来、そして救助されるまでの経過を写真と映像で振り返るとともに、災害の備えについて学ぶことができます。被災の痕跡を鮮明に残す校舎と、被災直後の様子を示す展示等により、来館者が津波の威力や脅威を実感できる場として2017年より公開しています。
- 閑上地区から車で10分
- 近隣には果物狩り体験ができる「JRフルーツパーク仙台あらはま」が2021年にオープン

【料金】 無料

【営業時間】 9～6月9:30～16:00／7・8月のみ9:30～17:00

休館日：月曜日および第4木曜日（祝日を除く）／年末年始

【所要時間】 約70分

【施設情報】 宮城県仙台市若林区荒浜字新堀端32-1、
大型バス駐車場可

【アクセス】 仙台東部道路「仙台東」IC下車約10分

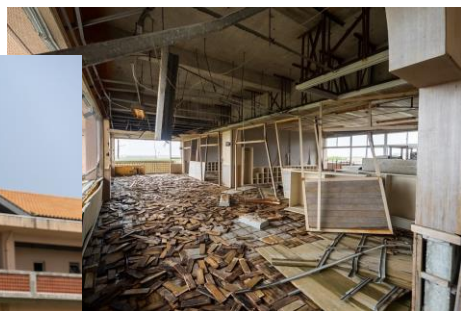
【問合せ】 震災遺構仙台市立荒浜小学校 管理事務所

※来館の際は新型コロナウイルス感染状況に応じてご協力お願い致します。



■ 組み合わせ例②山元町震災遺構・中浜小学校

- 2階天井近くまで津波が到達したものの、児童ら90人の命を守り抜いた校舎を被災したままの状態で見学を含めて令和2年9月より一般公開。津波の脅威を知るだけでなく、映像や模型などから避難行動を「自分ごと」として考え、屋上倉庫では避難当日の一夜を肌で感じることができます。
- 遺構保存の手法や見学体験の工夫などが高く評価され、2020年度グッドデザイン・ベスト100、特別賞であるグッド・フォーカス賞(防災・復興デザイン)をダブル受賞した震災遺構です。
- 近隣に産直施設「やまもと夢いちごの郷」があります。
- 閑上地区から約40分



屋上倉庫内部

【開館時間】：9時30分～16時30分

【休館日】毎週月曜（祝日の場合翌日）、年末年始

【住所】宮城県亘理郡山元町坂元字久根22番地2

【所要時間】45分～120分（児童向け映像あり）

【入館料】一般400円、高校生300円、小中学生200円、

※20名以上100円引き

【語り部】20名1グループ 5,000円（最大120分、事前予約制）

【アクセス】常磐自動車道 山元南スマートICより 約10分

※来館の際は新型コロナウイルス感染状況に応じてご協力お願い致します。【問合せ】山元町教育委員会生涯学習課（0223-36-8948）

きてけさいん！！



一般社団法人

名取市観光物産協会

NATORI City Tourist Bureau MIYAGI ● JAPAN

